

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2016年1月29日から2025年11月17日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を含む世界各国の不動産投資信託（リート）および株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド（適格機関投資家専用） BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド マネー・トラスト・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、ヘルスケア施設に関連する世界各国の不動産投資信託（リート）および株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。 ■実質的な運用は、世界各国のヘルスケアリートおよびヘルスケア株式の調査・運用に精通したBNPパリバ・アセットマネジメント・グループが行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年2回（原則として5月および11月の17日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みません。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ヘルスケア・ リート・プラス 【運用報告書（全体版）】

（2020年5月19日から2020年11月17日まで）

第 **10** 期
決算日 2020年11月17日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を含む世界各国の不動産投資信託（リート）および株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債券組 入率	投資信託 比率	純資産 総額
		税金 分	込金 配	騰落 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
6期(2018年11月19日)	10,000	108	9.1	0.3	78.5	676	
7期(2019年5月17日)	10,000	117	1.2	0.4	84.7	565	
8期(2019年11月18日)	10,000	563	5.6	0.4	79.7	497	
9期(2020年5月18日)	7,373	0	△26.3	0.6	94.2	419	
10期(2020年11月17日)	9,472	0	28.5	0.5	84.5	517	

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債券組 入率	投資信託 比率	純資産 総額
		騰落	率			
(期首) 2020年5月18日	円	%	%	%	%	%
	7,373	—	—	0.6	94.2	
5月末	8,358	13.4	13.4	0.5	97.0	
6月末	8,308	12.7	12.7	0.5	97.5	
7月末	8,597	16.6	16.6	0.5	96.9	
8月末	8,817	19.6	19.6	0.5	97.7	
9月末	8,552	16.0	16.0	0.5	97.3	
10月末	8,191	11.1	11.1	0.6	97.5	
(期末) 2020年11月17日	9,472	28.5	28.5	0.5	84.5	

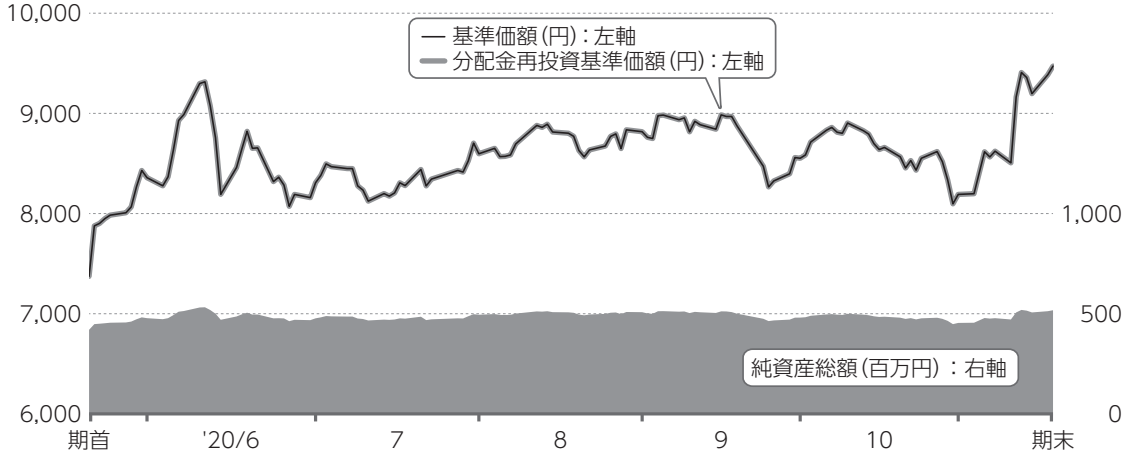
※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年5月19日から2020年11月17日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	7,373円
期末	9,472円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	+28.5% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因(2020年5月19日から2020年11月17日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、グローバル市場で上場しているヘルスケア関連の不動産投資信託証券(以下「ヘルスケア・リート」といいます。)およびヘルスケア関連の株式を主要投資対象として運用を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 新型コロナウイルスの感染拡大ペースが緩やかになり、各国政府が経済活動の再開に向けた動きをみせたことで投資家心理が改善したこと

下落要因

- 期を通じてみると、対円で米ドル安となったこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	期末組入比率
BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド (適格機関投資家専用)	内外 リート・株式	84.5%
マネー・トラスト・マザーファンド	短期金融資産	0.7%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について(2020年5月19日から2020年11月17日まで)

期を通じてみると、ヘルスケア・リート、ヘルスケア関連株式はともに大きく上昇しました。為替市場は、米ドル安・円高となりました。

ヘルスケア・リート市場

ヘルスケア・リートは、期を通してみると大きく上昇しました。

期初から6月上旬にかけて、ヘルスケア・リートは上昇しました。新型コロナウイルスの感染拡大ペースが緩やかになり、各国政府が経済活動の再開に向けた動きをみせたことなどが支援材料となりました。6月中旬から期末にかけて、ヘルスケア・リートは横ばいで推移しました。高齢者向け住宅などで入居率の低下に歯止めがかかったことなどが支援材料となりましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴ってグローバルな景気回復への懸念が高まったことや、財政当局の財政刺激策に対する不透明感が強まったことに加え、米国の大統領選挙の行方が不透明であることなどが嫌気されました。

当期のヘルスケア・リーートの動きをブルームバーグREIT指数ヘルスケア(米ドルベース)でみると、47.7%上昇しました。

ヘルスケア関連株式市場

当期のヘルスケア関連株式も大きく上昇

しました。新型コロナウイルスワクチンなどの治験需要が増加したことや手術件数が増加したこともあって、医薬関連株式が上昇したことなどが支援材料となりました。

当期のヘルスケア関連株式の動きをラッセル3000ヘルスケア施設指数(米ドルベース)でみると、48.2%の上昇となりました。

為替市場

期を通じて、米ドルは対円で下落しました。

7月に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)において緩和策が長期化すると市場が認識したことや、米国経済の回復持続性に対して懸念が生じたことが米ドルの売り材料となりました。

当期の米ドル・円は、期首107円19銭から期末104円48銭へと、2円71銭の米ドル安・円高となりました。

ポートフォリオについて(2020年5月19日から2020年11月17日まで)

当ファンド

期を通じて、「BNP パリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)」を高位に組み入れました。

BNP パリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)

ポートフォリオは期末時点で、組入国9カ国(米国、ドイツ、フランス、ベルギー、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、

タイ、南アフリカ)、組入通貨7種類(除く現金など)(米ドル、ユーロ、イギリスポンド、オーストラリアドル、ニュージーランドドル、タイバーツ、南アフリカランド)、組入銘柄数23銘柄(リート12・株式11)に分散されています。

マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2020年5月19日から2020年11月17日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2020年5月19日から2020年11月17日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第10期
当期分配金 (対基準価額比率)	— (—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,223

当期の分配は、基準価額水準等を勘案し、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「BNP パリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)」を高位に組み入れて運用を行います。

BNP パリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用)

ヘルスケア・リート市場では、新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う世界的な景気減速懸念に加え、米国大統領選挙後のヘルスケアに関連する予算や計画に対する不確実性も短期的な不透明要因となります。一方、緩和的な金融環境が継続すると見込まれることはポジティブに影響するとみています。また、景気見通しが悪化する局面では、ヘルスケア・セクターが有するディフェンシブ性(景気変動の影響を受けにくい性質)が相対的に選好されると見込まれます。さらに、

世界的な高齢化の進行やヘルスケア関連業界の再編の動きを背景に良質な不動産物件への投資需要は堅調で、中長期的にはヘルスケア・リートおよびヘルスケア関連株式市場の成長・拡大が続くと予想しています。

ポートフォリオの構築においては、流動性や財務健全性が高く、成長性に対して割安と判断される優良リートおよび企業に注目しています。その上で、リートについては特に配当水準に着目し、株式では特に地域や企業の成長性を重視しています。リートに加えて株式にも投資しており、地域も広く分散したポートフォリオを維持します。

マネー・トラスト・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細 (2020年5月19日から2020年11月17日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	49円 (17) (30) (1)	0.579% (0.204) (0.358) (0.017)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.003 (0.003) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	49	0.582	

期中の平均基準価額は8,470円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

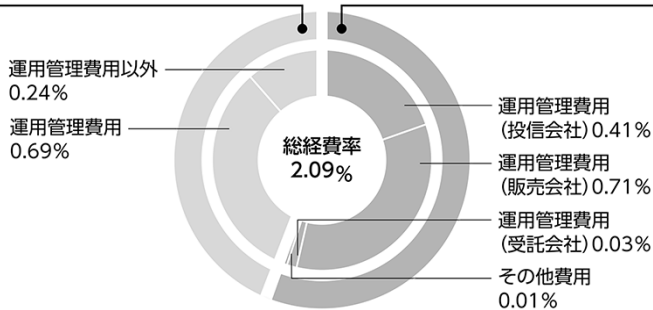
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「1万口当たりの費用明細」をご覧ください。

参考情報 総経費率（年率換算）

2 投資先ファンドの費用 0.93% 1 当ファンドの費用 1.16%



総経費率 (1 + 2) 2.09%

1 当ファンドの費用の比率 1.16%

投資先ファンドの運用管理費用の比率 0.69%

2 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 0.24%

※1の各費用は、後掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の各費用は、投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の「1万口当たりの費用明細」をもとに、委託会社が年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は2.09%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2020年5月19日から2020年11月17日まで)

投資信託証券

国 内	買 付 口 数	買 付 額 千円	売 付 口 数	売 付 額 千円
BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド (適格機関投資家専用)	34,285,620	26,900	104,681,868	88,000
合 計	34,285,620	26,900	104,681,868	88,000

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等 (2020年5月19日から2020年11月17日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年5月19日から2020年11月17日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年11月17日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	期首(前期末)		期 末		組 入 比 率 %
	口 数	口 数	口 数	評 価 額 千円	
BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド (適格機関投資家専用)	566,018,065	495,621,817	437,188	84.5	84.5
合 計	566,018,065	495,621,817	437,188	84.5	84.5

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)		期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額 千円
マネー・トラスト・マザーファンド	3,392	3,392	3,382	3,382

※マネー・トラスト・マザーファンドの期末の受益権総口数は12,685千口です。

※単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成 (2020年11月17日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額 千円	比 率 %
投 資 信 託 受 益 証 券	437,188	83.2
マ ネ ー ・ ト ラ ス ト ・ マ ザ ー フ ア ン ド	3,382	0.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	84,954	16.2
投 資 信 託 財 産 総 額	525,524	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年11月17日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	525,524,375円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	29,854,138
投資信託受益証券(評価額)	437,188,004
マネー・トラスト・マザーファンド(評価額)	3,382,233
未 収 入 金	55,100,000
(B) 負 債	8,168,511
未 払 解 約 金	5,330,293
未 払 信 託 報 酬	2,822,064
未 払 利 息	85
そ の 他 未 払 費 用	16,069
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	517,355,864
元 本	546,169,703
次 期 繰 越 損 益 金	△ 28,813,839
(D) 受 益 権 総 口 数	546,169,703口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,472円

※当期における期首元本額569,160,312円、期中追加設定元本額43,877,083円、期中一部解約元本額66,867,692円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2020年5月19日 至2020年11月17日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	17,863,152円
受 取 配 当 金	17,868,030
支 払 利 息	△ 4,878
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	95,008,134
売 買 益	103,059,217
売 買 損	△ 8,051,083
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,838,868
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	110,032,418
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 125,856,539
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 12,989,718
(配 当 等 相 当 額)	(18,841,538)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 31,831,256)
(G) 計 (D + E + F)	△ 28,813,839
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 28,813,839
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 12,989,718
(配 当 等 相 当 額)	(18,841,592)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 31,831,310)
分 配 準 備 積 立 金	47,997,731
繰 越 損 益 金	△ 63,821,852

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(17,426,684円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(18,841,592円)および分配準備積立金(30,571,047円)より分配可能額は66,839,323円(1万口当たり1,223円)ですが、分配は行っておりません。

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	— 円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）		
信託期間	設定日（2016年2月1日）から無期限		
運用方針	BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券を主要投資対象とし、安定的な収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。		
主要運用対象	ベビーファンド	マザーファンド受益証券	
	マザーファンド	グローバル市場で上場等されているヘルスケア関連の不動産投資信託証券（以下「リート」といいます。）、ヘルスケア関連の株式	
組入制限	ベビーファンド	リート	実質投資割合は信託財産の純資産総額の65%以上とします。
		外貨建資産	実質投資割合には制限を設けません。
		デリバティブ	ヘッジ目的に限定します。
	マザーファンド	リート	投資割合は信託財産の純資産総額の65%以上とします。
		外貨建資産	投資割合には制限を設けません。
		デリバティブ	ヘッジ目的に限定します。
分配方針	毎決算時（毎年5月9日及び11月9日。休業日の場合は翌営業日。）に、原則として収益分配を行う方針です。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。収益分配額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、信託財産の状況によっては分配を行わないこともあります。		

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

運用報告書(全体版) 第10期 (決算日 2020年11月9日)

BNPパリバ・ヘルスケア・リート・ プラス・ファンド (適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／不動産投信（リート）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド
(適格機関投資家専用)は、2020年11月9日に第10期決算を行いました。

ここに、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ窓口

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

電話番号：0120-996-222

受付時間：毎営業日 午前10時～午後5時

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-9-1 グラントウキョウノースタワー

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			Bloomberg REIT Healthcare Index		株式組入比率	投資信託組入比率	純資産総額
	(分配落)	税金	み騰	期騰	中率			
	円	円	率	(参考指数)	率			百万円
6期(2018年11月9日)	9,820	322	14.6	168.5	16.1	29.1	68.4	672
7期(2019年5月9日)	9,406	248	△1.7	173.4	2.9	28.9	68.0	528
8期(2019年11月11日)	9,855	241	7.3	187.0	7.8	30.7	66.9	471
9期(2020年5月11日)	7,343	280	△22.6	122.3	△34.6	28.3	69.4	415
10期(2020年11月9日)	7,840	321	11.1	139.4	14.0	29.7	65.6	442

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」及び「投資信託証券組入比率」は実質組入比率を記載しております。

(注4) Bloomberg REIT Healthcare Index（ブルームバーグREIT指数ヘルスケア）は参考指数として併記しており、基準価額への反映を考慮して前日の値を使用しております。なお、Bloomberg REIT Healthcare Indexは当ファンドのベンチマークではありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Bloomberg REIT Healthcare Index		株式組入比率	投資信託組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)	円	率		率		
2020年5月11日	7,343	—	122.3	—	28.3	69.4
5月末	7,964	8.5	134.8	10.2	27.0	71.0
6月末	7,923	7.9	135.3	10.6	25.7	71.4
7月末	8,217	11.9	142.4	16.5	27.0	69.6
8月末	8,441	15.0	146.1	19.4	25.7	70.0
9月末	8,192	11.6	139.2	13.8	26.2	69.2
10月末	7,848	6.9	136.8	11.9	27.0	64.4
(期末)						
2020年11月9日	8,161	11.1	139.4	14.0	29.7	65.6

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

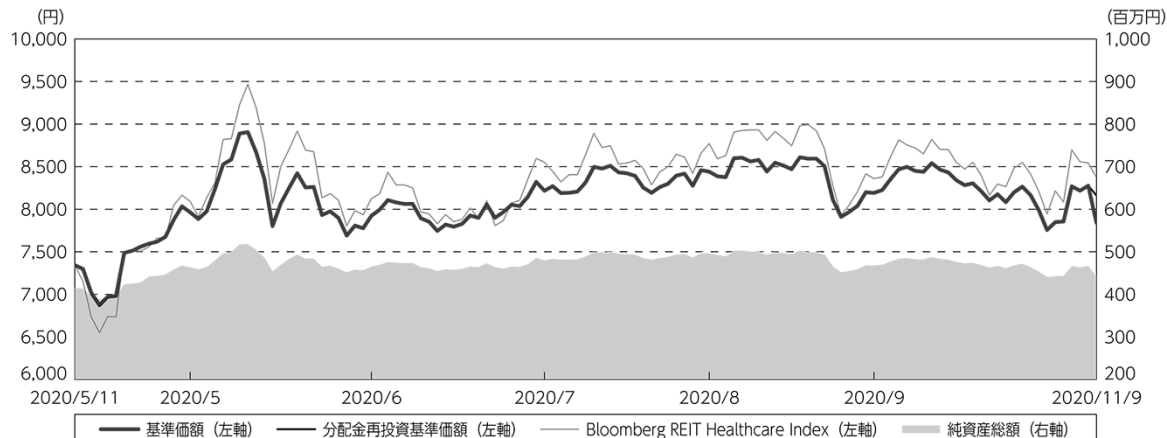
(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」及び「投資信託証券組入比率」は実質組入比率を記載しております。

(注4) Bloomberg REIT Healthcare Index（ブルームバーグREIT指数ヘルスケア）は参考指数として併記しており、基準価額への反映を考慮して前日の値を使用しております。なお、Bloomberg REIT Healthcare Indexは当ファンドのベンチマークではありません。

○運用経過

（2020年5月12日～2020年11月9日）

■期中の基準価額等の推移



期首：7,343円

期末：7,840円（既払分配金（税込み）：321円）

騰落率：11.1%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびBloomberg REIT Healthcare Indexは、期首（2020年5月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注5) Bloomberg REIT Healthcare Indexは当ファンドの参考指数です。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）を通じて、グローバル市場で上場等されているヘルスケア関連の不動産投資信託証券（以下「リート」といいます。）に投資しています。また、ヘルスケア関連の株式にも投資を行っています。外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行っていません。したがって、基準価額はヘルスケア関連のリートの価格と株価、および為替の変動により影響を受けました。

当期末の基準価額は上昇しました。主な変動要因は下記の通りです。

上昇要因

新型コロナウイルスの感染拡大ペースが緩やかになり各国の政府が経済活動の再開に向けた動きを見せたことで投資家心理が改善したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

新型コロナウイルスの感染再拡大の傾向が見られたため、各国政府が都市封鎖（ロックダウン）を含む追加措置を講じたことで投資家が慎重なスタンスとなったことや、米ドルが円に対して下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■投資環境

ヘルスケア・リート

ブルームバーグREIT指数ヘルスケア（米ドルベース）に代表されるヘルスケア関連のリートの価格は、前期末比で上昇しました。

期初から2020年6月前半にかけて、同指数は上昇しました。新型コロナウイルスの感染拡大ペースが緩やかになり、各国政府が経済活動の再開に向けた動きを見せたことなどが支援材料となりました。6月後半からは、同指数は期末にかけて横ばいで推移しました。高齢者向け住宅などで入居率の低下に歯止めがかかったことなどが支援材料となりましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴ってグローバルの景気回復への懸念が高まったことや政府当局の財政刺激策に対する投資家の不信感が強まったことに加え、米国の大統領選挙の行方が不透明であることなどが嫌気されました。

ヘルスケア関連株式

ラッセル3000ヘルスケア施設指数（米ドルベース）に代表されるヘルスケア関連株価は、通期で上昇しました。

新型コロナウイルスのワクチンなどの試験需要が増加したことや手術件数が増加したこともあって医薬関連株式が上昇したことなどが支援材料となりました。

為替市場

当期は対円で米ドルが下落しましたが、ユーロ、イギリスポンドなどが上昇しました。

2020年7月に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）において緩和策が長期化すると市場が認識したことや米国経済回復の持続性に対して懸念が生じたこともあり米ドルの売り材料となり、米ドルは対円で下落しました。

■当ファンドのポートフォリオ

マザーファンドのポートフォリオは、期末時点で組入国9カ国（米国、ドイツ、フランス、ベルギー、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、タイ、南アフリカ）、組入通貨7種類（除く現金など）（米ドル、ユーロ、イギリスポンド、オーストラリアドル、ニュージーランドドル、タイバーツ、南アフリカランド）、組入銘柄数24銘柄（リート13・株式11）に分散されています。

■分配金

収益分配方針に基づき、第10期は1万口当たり321円（税込み）の分配を行いました。なお、分配金にあてなかった留保益については、特に制限を設けず、元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期
	2020年5月12日～ 2020年11月9日
当期分配金	321
（対基準価額比率）	3.933%
当期の収益	141
当期の収益以外	179
翌期繰越分配対象額	9

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

マザーファンドのポートフォリオの構築においては、流動性、財務健全性が高く、成長性に比してバリュエーションが割安と判断される優良リートおよび企業に注目しています。その上で、リートについては特に配当水準に着目し、株式については特に地域や企業の成長性を重視しています。リートに加えて株式にも投資しており、地域も広く分散したポートフォリオを維持します。

ヘルスケア・リート市場では、新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う世界的な景気減速懸念に加えて、米国の大統領選挙後のヘルスケアに関連する予算や計画に対する見通しも短期的な不透明要因となります。一方、緩和的な金融環境が継続すると見込まれることはポジティブに影響するとみています。また、景気見通しが悪化する局面では、ヘルスケア・セクターが有するディフェンシブ性が相対的に選好されると見込まれます。

さらに、世界的な高齢化の進行やヘルスケア関連業界の再編の動きを背景に良質な不動産物件への投資需要は堅調で、中長期的にはヘルスケア・リート市場の成長・拡大が続くと予想しています。

（将来の市場環境の変動等により、当該運用方針は変更される場合があります。）

○ 1 万口当たりの費用明細

（2020年5月12日～2020年11月9日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	29	0.357	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(27)	(0.335)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.005)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.010	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(1)	(0.010)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	10	0.127	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.072)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の 移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.013)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	(3)	(0.042)	運用報告書等の法定書類の作成に要する費用
合 計	40	0.494	
期中の平均基準価額は、8,097円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

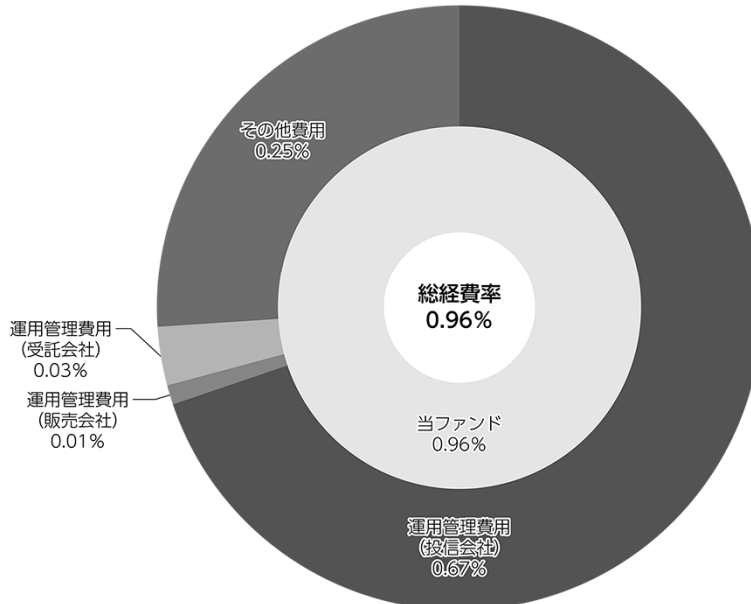
(注3) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.96%です。



(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年5月12日～2020年11月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド	千口 21,895	千円 22,900	千口 42,260	千円 45,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2020年5月12日～2020年11月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	—千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	123,980千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	—	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年5月12日～2020年11月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年11月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド	千口 423,359	千口 402,994	千円 438,015

(注) 単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年11月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド	438,015	94.8
コール・ローン等、その他	24,249	5.2
投資信託財産総額	462,264	100.0

(注1) 金額の単位未満は切り捨て。

(注2) BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（429,180千円）の投資信託財産総額（438,033千円）に対する比率は98.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年11月9日における邦貨換算レートは1米ドル=103.35円、1ユーロ=122.83円、1イギリスポンド=136.16円、1オーストラリアドル=75.15円、1ニュージーランドドル=70.20円、1タイバーツ=3.39円、1ランド=6.63円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年11月9日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	462,264,587
コール・ローン等	24,249,538
BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド(評価額)	438,015,049
(B) 負債	20,045,161
未払収益分配金	18,105,097
未払信託報酬	1,681,435
未払利息	63
その他未払費用	258,566
(C) 純資産総額(A-B)	442,219,426
元本	564,021,726
次期繰越損益金	△121,802,300
(D) 受益権総口数	564,021,726口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,840円

- (注1) 期首元本額 566,018,065円
 期中追加設定元本額 34,285,620円
 期中一部解約元本額 36,281,959円
 1口当たり純資産額 0.7840円
- (注2) 純資産総額が元本を下回っており、その差額は121,802,300円です。

○損益の状況（2020年5月12日～2020年11月9日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,741
支払利息	△ 2,741
(B) 有価証券売買損益	46,458,072
売買益	49,318,114
売買損	△ 2,860,042
(C) 信託報酬等	△ 1,940,001
(D) 当期損益金(A+B+C)	44,515,330
(E) 前期繰越損益金	△118,533,373
(F) 追加信託差損益金	△ 29,679,160
(配当等相当額)	(10,554,919)
(売買損益相当額)	(△ 40,234,079)
(G) 計(D+E+F)	△103,697,203
(H) 収益分配金	△ 18,105,097
次期繰越損益金(G+H)	△121,802,300
追加信託差損益金	△ 39,785,386
(配当等相当額)	(540,521)
(売買損益相当額)	(△ 40,325,907)
繰越損益金	△ 82,016,914

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 当期における、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用は、934,358円です。
- (注5) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,998,871円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(10,646,747円)より分配対象収益は18,645,618円(10,000口当たり330円)であり、うち18,105,097円(10,000口当たり321円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	321円
----------------	------

○外国の税法について

<租税に関するリスクファクター>

外国の税法による源泉徴収が投資信託からの支払いに影響を与える可能性があります。

外国の税法により、その要求する情報を提供しない特定の投資家に対する支払いに対して、源泉徴収税が課される可能性があります。そのような源泉徴収に係る金額が、当投資信託に係る支払いから源泉徴収される場合、投資信託委託会社又はその他の者が、追加での支払いを求められることはありません。投資しようとしている方は、下記「<外国の税法に関する開示> 外国の税法」の部分をご参照ください。

外国の税法による報告により、投資家の当投資信託の保有に関して開示しなければならない場合があります。

外国の税法により、当投資信託の保有者の情報を集めて、関係する税務当局へ開示する必要がある場合があります。開示される情報は、投資家及びその直接又は間接的な受益者、実質的な所有者、被支配関係にある者の本人確認情報を含みますが、これに限られません。従って、上記のような情報の報告義務を投資信託委託会社が遵守するため、投資家は自己及びその直接又は間接的な受益者、実質的な所有者、被支配関係にある者についての情報に関する投資信託委託会社からの合理的な要求を遵守するよう求められることとなります。投資家がそのような要求を遵守しない場合、当投資信託からの支払いに関して当該投資家について源泉徴収又は控除がされることがあります。また、投資信託の一部解約、強制的な売却をされることもあります。

<外国の税法に関する開示>

外国の税法

外国の税法は、新しい報告体制を課し、金融機関が受け、又は行う、特定の支払いに対して源泉徴収がされる場合があります。当投資信託は金融機関に分類されます。

外国の税法に基づき、関係する税務当局へ投資家の特定の情報を報告する必要がある場合があります。開示される情報は、投資家及びその直接又は間接的な受益者、実質的な所有者、被支配関係にある者の本人確認情報を含みますが、これに限られません。従って、上記のような情報の報告義務を投資信託委託会社が遵守するため、投資家は自己及びその直接又は間接的な受益者、実質的な所有者、被支配関係にある者についての情報に関する投資信託委託会社からの合理的な要求を遵守するよう求められることとなります。投資家がそのような要求を遵守しない場合、当投資信託からの支払いに関して当該投資家について源泉徴収又は控除がされることがあります。また、投資信託の一部解約、強制的な売却をされることもあります。

外国の税法の遵守のため、以下の通り各納税者に通知します。(A)ここに記載された税金に関する説明は、各納税者に課される外国の租税に関する罰則を回避する目的で書かれたものではなく、また、そのために利用することはできません。(B)このような税金の記載はここに記載された取引や事項を促進又は勧誘することを支援するために書かれています。(C)納税者は独立した税務アドバイザーから当該納税者の個別の状況に基づいたアドバイスを受けるべきです。

○米国人投資家に係る制限

委託会社は米国において投資顧問業の登録を行っておりません。ファンドは米国において投資手段として登録されておらず、またファンドの受益権は1933年米国証券法に基づいて登録されておらず、今後登録される予定もないため、ファンドの受益権は以下に定義される制限対象者に対して募集または販売することができません。

制限対象者とは、(i) 米国内に所在する人または事業体（米国居住者を含む）、(ii) 米国または米国の州の法律が適用される企業またはその他事業体、(iii) 米国外に所在するすべての米国軍事関係者、または米国の政府もしくは政府関係機関に係るすべての従業員、または(iv) 1933年米国証券法（改正を含む。）におけるレギュレーションSにより「米国人（U. S. Person）」と定義されるその他のすべての者、を指します。

ファンドは、1974年米国従業員退職所得保障法（改正を含む。）に基づくか否かを問わず、従業員給付制度またはその資産が従業員給付制度の資産の一部を構成する事業体である投資家からの取得の申込みは受け付けません。

BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・マザーファンド

運用報告書

<第5期>

決算日 2020年11月9日

(計算期間 2019年11月12日～2020年11月9日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	<p>グローバル市場で上場等されているヘルスケア関連の不動産投資信託証券（以下「リート」といいます。）を主要投資対象とし、安定的な収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル市場で上場等されているヘルスケア関連のリートに投資します。また、ヘルスケア関連の株式にも投資します。 ・ヘルスケア関連のリート及びヘルスケア関連の株式への組入比率は高位に保つことを基本とします。 ・外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行いません。 ・資金動向、市況動向、その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 ・BNPパリバ・アセットマネジメント・ネーデルラント N.V. (BNP PARIBAS ASSET MANAGEMENT Nederland N.V.) に運用指図に関する権限を委託します。 	
主要運用対象	主としてグローバル市場で上場等されているヘルスケア関連のリート、ヘルスケア関連の株式	
組入制限	リート	投資割合は、信託財産の純資産総額の65%以上とします。
	外貨建資産	投資割合には制限を設けません。
	デリバティブ	ヘッジ目的に限定します。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		Bloomberg REIT Healthcare Index (参考指数)		株組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	騰落	率	騰落	率			
(設定日) 2016年2月1日	円 10,000	% —	159.4	% —	% —	% —	百万円 438
1期(2016年11月9日)	9,160	△ 8.4	166.8	4.7	29.7	67.3	789
2期(2017年11月9日)	10,798	17.9	169.6	1.7	27.4	64.9	653
3期(2018年11月9日)	11,811	9.4	168.5	△ 0.6	29.4	69.2	664
4期(2019年11月11日)	12,563	6.4	187.0	11.0	31.4	68.5	460
5期(2020年11月9日)	10,869	△13.5	139.4	△25.5	30.0	66.3	438

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定元本を表示しております。

(注3) Bloomberg REIT Healthcare Index (ブルームバーグREIT指数ヘルスケア) は参考指数として併記しており、基準価額への反映を考慮して前日の値を使用しております。なお、Bloomberg REIT Healthcare Indexは当ファンドのベンチマークではありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Bloomberg REIT Healthcare Index (参考指数)		株組入比率	投資信託 組入比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首) 2019年11月11日	円 12,563	% —	187.0	% —	% 31.4	% 68.5
11月末	12,920	2.8	191.8	2.6	29.0	68.7
12月末	12,830	2.1	185.8	△ 0.6	28.9	68.7
2020年1月末	13,087	4.2	195.0	4.2	28.4	66.8
2月末	12,581	0.1	181.4	△ 3.0	27.9	66.9
3月末	9,261	△26.3	120.7	△35.4	28.3	68.0
4月末	10,111	△19.5	131.7	△29.6	27.7	68.6
5月末	10,538	△16.1	134.8	△27.9	27.3	71.8
6月末	10,493	△16.5	135.3	△27.7	26.0	72.2
7月末	10,897	△13.3	142.4	△23.8	27.3	70.4
8月末	11,204	△10.8	146.1	△21.9	26.0	70.7
9月末	10,878	△13.4	139.2	△25.6	26.4	69.5
10月末	10,428	△17.0	136.8	△26.8	28.5	67.8
(期末) 2020年11月9日	10,869	△13.5	139.4	△25.5	30.0	66.3

(注1) 基準価額は1万口当たり。

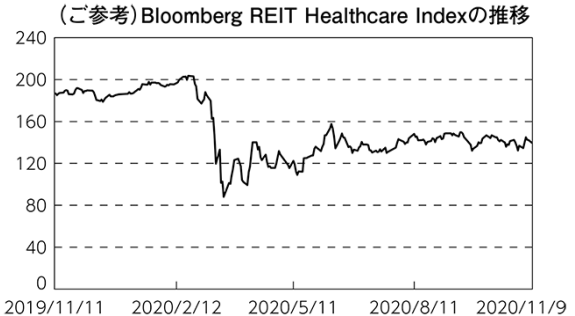
(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) Bloomberg REIT Healthcare Index (ブルームバーグREIT指数ヘルスケア) は参考指数として併記しており、基準価額への反映を考慮して前日の値を使用しております。なお、Bloomberg REIT Healthcare Indexは当ファンドのベンチマークではありません。

○運用経過

(2019年11月12日～2020年11月9日)

■期中の基準価額等の推移



(注) Bloomberg REIT Healthcare Indexは、参考情報として掲げたものであり、当ファンドのベンチマークではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、グローバル市場で上場等されているヘルスケア関連の不動産投資信託証券（以下「リート」といいます。）に投資しています。また、ヘルスケア関連の株式にも投資を行っています。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。したがって、基準価額はヘルスケア関連のリーートの価格と株価、および為替の変動により影響を受けました。

当期末の基準価額は下落しました。主な変動要因は下記の通りです。

上昇要因

新型コロナウイルスの感染拡大ペースが緩やかになり各国の政府が経済活動の再開に向けた動きを見せたことで投資家心理が改善したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことや、感染拡大を防ぐために各国政府によって採られた施策によって経済の減速がみられたこと、米ドルが円に対して下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■投資環境

ヘルスケア・リート

ブルームバーグREIT指数ヘルスケア（米ドルベース）に代表されるヘルスケア関連のリーートの価格は、通期で下落しました。

期初から2020年3月前半にかけて、同指数は下落しました。1月に中国をはじめとする複数の国で新型コロナウイルスの感染が確認された際には、相対的なディフェンシブ性を評価されてヘルスケア・リートは上昇しましたが、その後感染が世界中に拡大したことでリスク性資産全般に対して投資家心理が冷え込みました。更に、各国の政府による感染拡大防止措置が实体经济へマイナスの影響を与えたことで、市場は大幅な下落とな

りました。その後、3月後半から6月前半にかけて新型コロナウイルスの感染拡大ペースが緩やかになり、各国政府が経済活動の再開に向けた動きを見せたことなどで上昇する局面がありましたが、6月後半からは、同指数は期末にかけて横ばいで推移しました。高齢者向け住宅などで入居率の低下に歯止めがかかったことなどが支援材料となりましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴ってグローバルの景気回復への懸念が高まったことや政府当局の財政刺激策に対する投資家の不信感が強まったことに加え、米国の大統領選挙の行方が不透明であることなどが嫌気されました。

ヘルスケア関連株式

ラッセル3000ヘルスケア施設指数（米ドルベース）に代表されるヘルスケア関連株価は、通期で上昇しました。

新型コロナウイルスの感染拡大などの影響で大幅な下落となりましたが、その後新型コロナウイルスのワクチンなどの試験需要が増加したことや手術件数が増加したこともあって医薬関連株式が上昇したことなどが支援材料となりました。

為替市場

当期は対円でユーロなどが上昇しましたが、米ドル、イギリスポンドなどが下落しました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大および、それに伴う各国政府による感染拡大防止策の実態経済へのマイナス影響などから不確実性が高まり、米ドルは対円で下落しました。

■当ファンドのポートフォリオ

当ファンドのポートフォリオは、期末時点で組入国9カ国（米国、ドイツ、フランス、ベルギー、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、タイ、南アフリカ）、組入通貨7種類（除く現金など）（米ドル、ユーロ、イギリスポンド、オーストラリアドル、ニュージーランドドル、タイバーツ、南アフリカランド）、組入銘柄数24銘柄（リート13・株式11）に分散されています。

■今後の運用方針

ポートフォリオの構築においては、流動性、財務健全性が高く、成長性に比してバリュエーションが割安と判断される優良リートおよび企業に注目しています。その上で、リートについては特に配当水準に着目し、株式については特に地域や企業の成長性を重視しています。リートに加えて株式にも投資しており、地域も広く分散したポートフォリオを維持します。

ヘルスケア・リート市場では、新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う世界的な景気減速懸念に加えて、米国の大統領選挙後のヘルスケアに関連する予算や計画に対する見通しも短期的な不透明要因となります。一方、緩和的な金融環境が継続すると見込まれることはポジティブに影響するとみています。また、景気見通しが悪化する局面では、ヘルスケア・セクターが有するディフェンシブ性が相対的に選好されると見込まれます。

さらに、世界的な高齢化の進行やヘルスケア関連業界の再編の動きを背景に良質な不動産物件への投資需要は堅調で、中長期的にはヘルスケア・リート市場の成長・拡大が続くと予想しています。

（将来の市場環境の変動等により、当該運用方針は変更される場合があります。）

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年11月12日～2020年11月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 4 (1) (3)	% 0.035 (0.004) (0.030)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	1 (0) (1)	0.008 (0.002) (0.007)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	22 (22) (0)	0.196 (0.195) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理等に要するその他の費用
合 計	27	0.239	
期中の平均基準価額は、11,269円です。			

(注1) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年11月12日～2020年11月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 25	千米ドル 198	百株 17	千米ドル 125
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	14	46	40	103
	フランス	1	21	1	11
	オーストラリア	1	千オーストラリアドル 8	1	千オーストラリアドル 11
	ニュージーランド	18	千ニュージーランドドル 29	6	千ニュージーランドドル 9
	タイ	112	千タイバーツ 270	189	千タイバーツ 451
南アフリカ	4	千ランド 11	61	千ランド 145	

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	7,931	241	1,359	43
LTC PROPERTIES INC	2,598	105	3,555	140
NATL HEALTH INVESTORS INC	1,168	77	626	42
VENTAS INC	5,780	254	2,931	150
SABRA HEALTH CARE REIT INC	4,929	68	3,273	51
PHYSICIANS REALTY TRUST	5,500	94	6,463	111
HEALTHPEAK PROPERTIES INC	6,806	206	5,412	163
HEALTHCARE TRUST OF AME-CL A	5,238	145	4,727	128
WELLTOWER INC	3,147	196	1,311	94
小 計	43,097	1,390	29,657	927
ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
ベルギー				
COFINIMMO	652	84	1,127	143
AEDIFICA	547	51	218	22
AEDIFICA SA-RIGHTS	—	—	1,334	0.56596
	(1,334)	(2)		
小 計	1,199	135	2,679	166
	(1,334)	(2)	(—)	(2)
ユ ー ロ 計	1,199	135	2,679	166
	(1,334)	(2)	(—)	(2)
イギリス		千イギリスポンド		千イギリスポンド
ASSURA PLC	57,454	42	41,791	32
小 計	57,454	42	41,791	32
オーストラリア		千オーストラリアドル		千オーストラリアドル
ARENA REIT	28,147	74	32,024	88
小 計	28,147	74	32,024	88

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注3) ()内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2019年11月12日～2020年11月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	65,155千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	131,568千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.49

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月12日～2020年11月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年11月9日現在)

外国株式

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株数	評価額			
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
LABORATORY CRP OF AMER HLDGS	9	10	220	22,839	ヘルスケア機器・サービス	
UNIVERSAL HEALTH SERVICES-B	10	11	137	14,234	ヘルスケア機器・サービス	
HCA HEALTHCARE INC	11	13	188	19,495	ヘルスケア機器・サービス	
ACADIA HEALTHCARE CO INC	21	25	97	10,098	ヘルスケア機器・サービス	
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	38	39	147	15,223	食品・生活必需品小売り	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	92	100	792	81,891	
		5	5	—	<18.7%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
RHOEN-KLINIKUM AG	25	—	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
FRESENIUS MEDICAL CARE AG & CO.	19	18	129	15,890	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	45	18	129	15,890	
		2	1	—	<3.6%>	
(ユーロ…フランス)						
ORPEA	8	9	86	10,674	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8	9	86	10,674	
		1	1	—	<2.4%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	54	28	216	26,564	
		3	2	—	<6.1%>	
(オーストラリア)			千オーストラリアドル			
RAMSAY HEALTH CARE LTD	8	8	52	3,962	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8	8	52	3,962	
		1	1	—	<0.9%>	
(ニュージーランド)			千ニュージーランドドル			
RYMAN HEALTHCARE LTD	71	83	122	8,587	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	71	83	122	8,587	
		1	1	—	<2.0%>	
(タイ)			千タイバーツ			
BANGKOK DUSIT MEDICAL SERVICES/F	896	819	1,482	5,025	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	896	819	1,482	5,025	
		1	1	—	<1.1%>	
(南アフリカ)			千ランド			
LIFE HEALTHCARE GROUP HOLDINGS	440	383	808	5,360	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	440	383	808	5,360	
		1	1	—	<1.2%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,562	1,422	—	131,392	
		12	11	—	<30.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	671	7,243	211	21,865	5.0	
LTC PROPERTIES INC	4,760	3,803	127	13,127	3.0	
NATL HEALTH INVESTORS INC	1,984	2,526	142	14,676	3.4	
VENTAS INC	5,693	8,542	338	34,994	8.0	
SABRA HEALTH CARE REIT INC	6,673	8,329	114	11,818	2.7	
PHYSICIANS REALTY TRUST	10,042	9,079	161	16,645	3.8	
HEALTHPEAK PROPERTIES INC	11,874	13,268	372	38,504	8.8	
HEALTHCARE TRUST OF AME-CL A	10,853	11,364	300	31,099	7.1	
WELLTOWER INC	4,787	6,623	367	37,989	8.7	
小 計	口 数 ・ 金 額	57,337	70,777	2,135	220,722	
	銘柄 数 < 比 率 >	9	9	—	<50.4%>	
(ユーロ…ベルギー)				千ユーロ		
COFINIMMO	1,826	1,351	166	20,411	4.7	
AEDIFICA	1,005	1,334	122	15,025	3.4	
ユ ー ロ 計	口 数 ・ 金 額	2,831	2,685	288	35,436	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<8.1%>	
(イギリス)				千イギリスポンド		
ASSURA PLC	166,176	181,839	138	18,816	4.3	
小 計	口 数 ・ 金 額	166,176	181,839	138	18,816	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<4.3%>	
(オーストラリア)				千オーストラリアドル		
ARENA REIT	76,989	73,112	203	15,329	3.5	
小 計	口 数 ・ 金 額	76,989	73,112	203	15,329	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<3.5%>	
合 計	口 数 ・ 金 額	303,333	328,413	—	290,305	
	銘柄 数 < 比 率 >	13	13	—	<66.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 金額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年11月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	131,392	30.0
投資証券	290,305	66.3
コール・ローン等、その他	16,336	3.7
投資信託財産総額	438,033	100.0

(注1) 金額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(429,180千円)の投資信託財産総額(438,033千円)に対する比率は98.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年11月9日における邦貨換算レートは1米ドル=103.35円、1ユーロ=122.83円、1イギリスポンド=136.16円、1オーストラリアドル=75.15円、1ニュージーランドドル=70.20円、1タイバツ=3.39円、1ランド=6.63円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	438,033,923
コール・ローン等	15,451,247
株式(評価額)	131,392,870
投資証券(評価額)	290,305,779
未収配当金	884,027
(B) 負債	23
未払利息	23
(C) 純資産総額(A-B)	438,033,900
元本	402,994,801
次期繰越損益金	35,039,099
(D) 受益権総口数	402,994,801口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,869円

(注1) 期首元本額 366,764,002円
期中追加設定元本額 160,059,629円
期中一部解約元本額 123,828,830円
1口当たり純資産額 1.0869円(注2) 期末における元本の内訳
BNPパリバ・ヘルスケア・リート・プラス・ファンド(適格機関投資家専用) 402,994,801円

○損益の状況 (2019年11月12日~2020年11月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	16,370,490
受取配当金	16,380,757
支払利息	△ 10,267
(B) 有価証券売買損益	△87,574,937
売買益	11,347,588
売買損	△98,922,525
(C) 保管費用等	△ 935,030
(D) 当期損益金(A+B+C)	△72,139,477
(E) 前期繰越損益金	94,009,375
(F) 追加信託差損益金	30,340,371
(G) 解約差損益金	△17,171,170
(H) 計(D+E+F+G)	35,039,099
次期繰越損益金(H)	35,039,099

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

マネー・トラスト・マザーファンド

第5期（2019年10月16日から2020年10月12日まで）

信託期間	無期限（設定日：2016年1月29日）
運用方針	■主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 券 組 入 率	純 資 産 額
		騰 落 率	中 率		
(設 定 日) 2016年1月29日	円 10,000		% -	% -	百万円 10
1期（2016年10月12日）	10,001		0.0	80.4	10
2期（2017年10月12日）	9,992		△0.1	90.6	10
3期（2018年10月12日）	9,986		△0.1	68.2	10
4期（2019年10月15日）	9,980		△0.1	68.7	10
5期（2020年10月12日）	9,970		△0.1	74.8	12

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

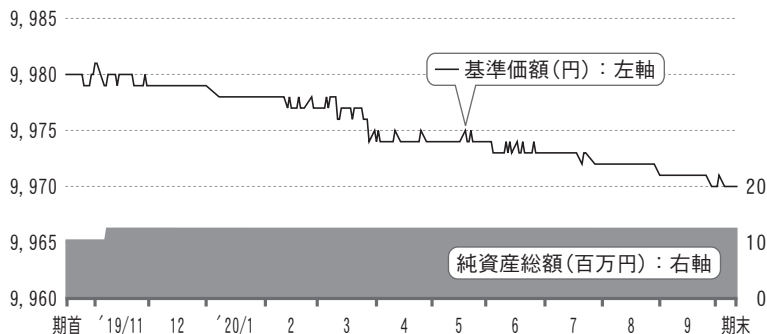
年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 率
		騰 落 率	率	
(期 首) 2019年10月15日	円 9,980		% -	% 68.7
10月末	9,981		0.0	68.6
11月末	9,979		△0.0	57.2
12月末	9,979		△0.0	68.4
2020年1月末	9,978		△0.0	68.4
2月末	9,977		△0.0	68.3
3月末	9,974		△0.1	69.3
4月末	9,974		△0.1	69.2
5月末	9,974		△0.1	72.5
6月末	9,973		△0.1	72.5
7月末	9,972		△0.1	72.4
8月末	9,971		△0.1	74.9
9月末	9,970		△0.1	74.8
(期 末) 2020年10月12日	9,970		△0.1	74.8

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2019年10月16日から2020年10月12日まで）

基準価額等の推移



期首	9,980円
期末	9,970円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額の主な変動要因（2019年10月16日から2020年10月12日まで）

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

- ・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について（2019年10月16日から2020年10月12日まで）

当期の短期金利は上昇しました。

物価上昇率の伸びが徐々に鈍化したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大により景気が大きく落ち込んだことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を据え置き、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から年末越えの運用ニーズが徐々にはく落するとともに上昇基調となり、12月初旬に-0.10%近辺となった後は横ばい圏で推移しました。しかし、2月下旬から世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、3月にはリスク回避の動きが強まったことから、安全資産としての短期国債への運用ニーズの強まりを背景に3月下旬に利回りは一時-0.40%台まで低下しました。過度な国債需給の引き締めりに対し、日銀が保有国債の売り現先（買い戻し条件付き売却）を断続的に実施したことから徐々に需給が緩和し、利回りは上昇に転

じました。その後は政府による大規模経済対策が策定され、5月から短期国債が大幅に増発されたことから利回りは上昇基調をたどりましたが、日銀が短期国債買入額を増額したことから利回り上昇は一服しました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.290%に対し、期末は-0.090%へ上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.005% (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.005	

期中の平均基準価額は9,975円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	特 殊 債 券	9,516	— (7,200)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年10月12日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 5 年 以 上	間 別 組 入 比 率 2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	9,400 (9,400)	9,461 (9,461)	74.8 (74.8)	— (—)	— (—)	— (—)	74.8 (74.8)
合 計	9,400 (9,400)	9,461 (9,461)	74.8 (74.8)	— (—)	— (—)	— (—)	74.8 (74.8)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘	柄	期		末	
			利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
			%	千円	千円	
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	第124回	政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	2,400	2,406	2020/12/28
	第133回	政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	2,300	2,316	2021/4/30
	第135回	政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	2,400	2,417	2021/5/31
	第142回	政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	2,300	2,321	2021/8/31
合 計		計	—	9,400	9,461	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2020年10月12日現在)

項 目	期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公 社 債	9,461	74.8		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,186	25.2		
投 資 信 託 財 産 総 額	12,647	100.0		

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年10月12日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	12,647,720円
コール・ローン等	3,154,457
公社債(評価額)	9,461,469
未収利息	29,022
前払費用	2,772
(B) 負 債	53
未払利息	8
その他未払費用	45
(C) 純資産総額(A-B)	12,647,667
元 本	12,685,274
次期繰越損益金	△ 37,607
(D) 受益権総口数	12,685,274口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,970円

※当期における期首元本額10,580,853円、期中追加設定元本額2,104,421円、期中一部解約元本額0円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

ヘルスケア・リート・プラス	3,392,751円
米国・地方公共事業債ファンド(為替ヘッジあり)	50,056円
米国・地方公共事業債ファンド(為替ヘッジなし)	28,023円
世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2017-03	871,211円
ライフ・ジャーニー(かしこく育てるコース)	2,543,560円
ライフ・ジャーニー(かしこく使うコース)	2,453,434円
ライフ・ジャーニー(充実して楽しむコース)	721,009円
人生100年時代・世界分散ファンド(資産成長型)	100,141円
人生100年時代・世界分散ファンド(3%目標受取型)	100,141円
人生100年時代・世界分散ファンド(6%目標受取型)	100,141円
人生100年応援ファンド(資産成長コース)	64,109円
人生100年応援ファンド(ちょっぴり受取コース)	32,055円
人生100年応援ファンド(おもいっきり受取コース)	24,041円
MF S・グローバル株式ファンド	100,181円
テトラ・エクイティ	1,503,157円
ボンド・ゼロトリプル(予想分配金提示型)	300,632円
ボンド・ゼロトリプル(資産成長型)	300,632円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2019年10月16日 至2020年10月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	94,739円
受 取 利 息	97,728
支 払 利 息	△ 2,989
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△105,952
売 買 損	△105,952
(C) 信 託 報 酬 等	△ 683
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 11,896
(E) 前期繰越損益金	△ 21,290
(F) 追加信託差損益金	△ 4,421
(G) 計 (D+E+F)	△ 37,607
次期繰越損益金(G)	△ 37,607

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。